

## ◆ 今週のコメント

- ・ 第33週も引き続き、お盆の期間で休院している医療機関もあり、例年、この時期は全般的に報告数が少ない傾向がみられます。
- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が、1例(30歳代、男性)あります。推定感染地域は、国内で、推定感染経路は塵埃感染(水道工事)です。本年の累積報告数は、8例で、男性が6例、女性が2例です。年齢は、30歳代(1例)、40歳代(1例)、60歳代(2例)、70歳代(2例)、90歳代(2例)で、60歳以上が75.0%を占めています。推定感染経路は、水系感染が4例、塵埃感染が1例、不明3例です。
- ・ ウイルス性肝炎(B型)の報告が、1例(70歳代、男性)あります。推定感染地域は、国内で、推定感染経路は性的接触(経口)です。
- ・ 梅毒(早期顕症・Ⅱ期)の報告が、1例(30歳代、男性)あります。推定感染地域は、国内で、推定感染経路は不明です。
- ・ 手足口病の定点当たり報告数は1.70(68例)で、第28週をピークに減少していますが、依然として過去5年平均値を大きく上回っています。

## ◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成23年4月から6月末までの後天性免疫不全症候群の報告数は、HIV感染者1例(30歳代、男性)です。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 27例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類:ウイルス性肝炎(B型) 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症・Ⅱ期) 1例【1月以降の累積報告数 4例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67、小児科定点40、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	1.70	68
	② 感染性胃腸炎	1.55	62
	③ ヘルパンギーナ	0.60	24
	④ 突発性発しん	0.40	16
	⑤ 水痘	0.38	15
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

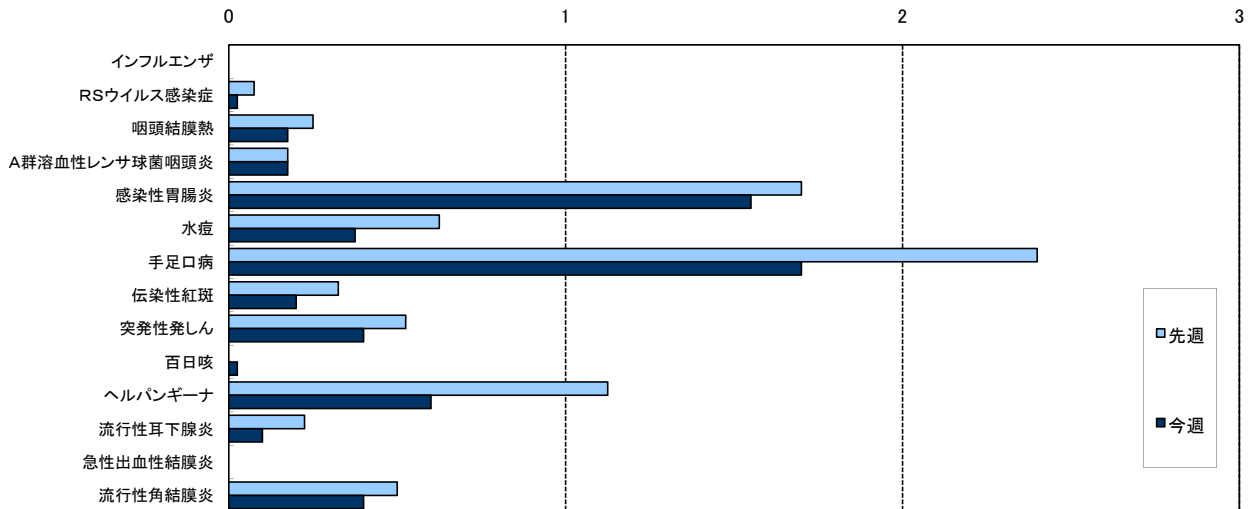
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

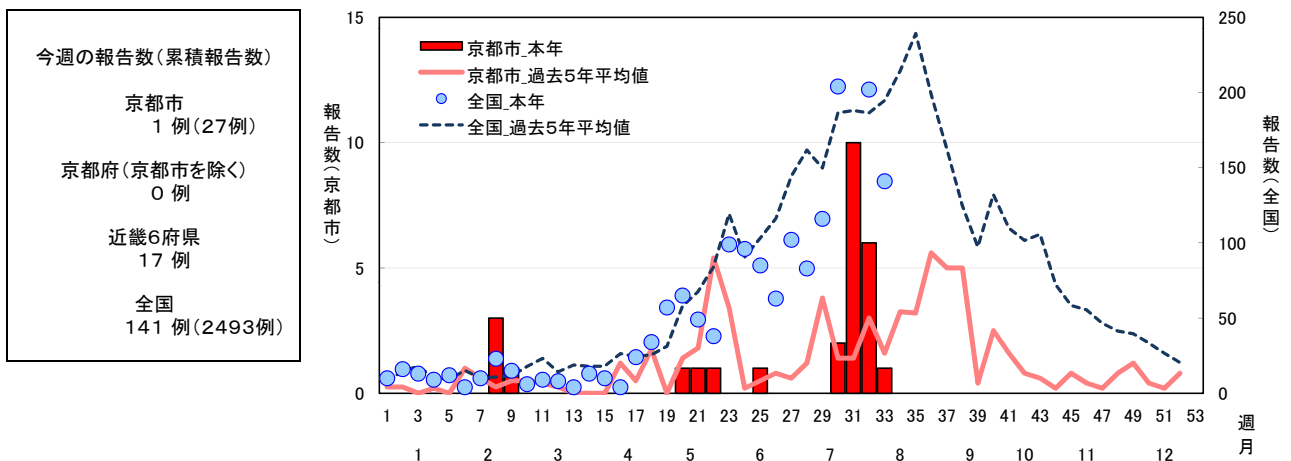
(注)京都市のデータは、平成23年8月25日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第33週)と先週(第32週)の定点当たり報告数の比較

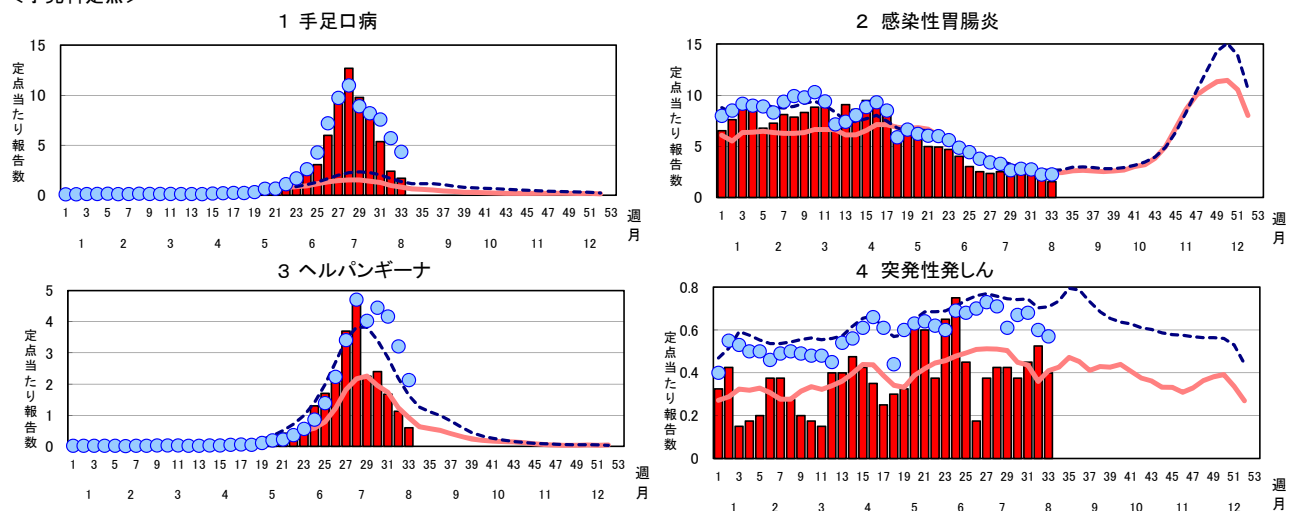


## 2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

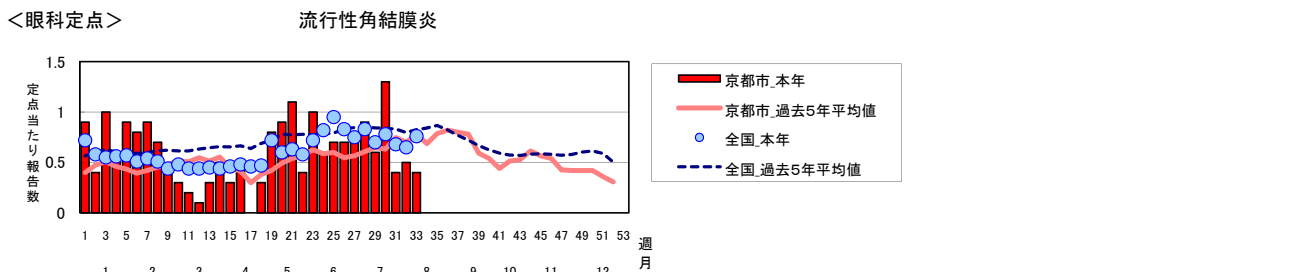


## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



## 第33週(8月15日～8月21日)トピックス: &lt;後天性免疫不全症候群&gt;

平成23年4月から6月末までの後天性免疫不全症候群の報告数は、HIV感染者1例(30歳代、男性)です。推定感染経路は、性行為感染(異性間)で、推定感染地域は、国内です。

平成23年1月から6月末までの累積報告数は6例(AIDS患者2例、HIV感染者4例)で、すべて男性です。年齢階級は20歳代及び30歳代が各2例、40歳代及び50歳代が各1例となっています。推定感染経路は、性行為感染が3例(異性間1例、同性間1例、不明1例)、不明が3例となっています。

平成12年以降の累積報告数は175例で、性別は、男性162例(92.6%)、女性13例(7.4%)となっています。推定感染経路は、性行為感染が131例で、後天性免疫不全症候群全体(175例)の74.9%を占めています。中でも、同性間の性行為感染が78例で最も多く、全体の44.6%を占めています。

年次別報告数の推移

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
平成12年	6	3	3	5	1
平成13年	6	2	4	6	0
平成14年	9	4	5	8	1
平成15年	11	2	9	11	0
平成16年	21	2	19	18	3
平成17年	9	3	6	9	0
平成18年	25	8	17	23	2
平成19年	22	7	15	19	3
平成20年	21	6	15	18	3
平成21年	22	10	12	22	0
平成22年	17	6	11	17	0
平成23年(1～6月)	6	2	4	6	0
総計	175	55	120	162	13

推定感染経路別 年次別報告数の推移

